

**第9回 JYMA 選抜 大学対抗&U 25 ヨットマッチレース
兼 2020 全日本ユースマッチレース選手権大会
レース公示 ver. 1.0**

1 主催団体等

本大会は日本ヨットマッチレース協会（JYMA）と三河みとマリーナが共同主催する。

本大会は下記の団体の後援・協賛・協力のもとに開催する。

- ・後援：日本セーリング連盟（JSAF）（予定）
- ・協賛：未定

2 開催地

開催地は愛知県三河湾である。レース本部は三河みとマリーナ内に設置される。

三河みとマリーナ：愛知県豊川市御津御幸浜1-1-21 Tel：0533-76-3100

3 イベント・グレーディング

本大会はWS グレード3として申請している。このグレーディングはWSによる審査に付され、明確な理由がある場合は変更されることがある。また本大会はJYMA イベントグレード係数1.5の大会である。

4 予定プログラム

4.1 日程：2020年2月28日（金）～3月1日（日）の3日間

Day1 2月28日（金）

8:00 受付／体重測定（乗員4名～6名、合計体重350kg以下）開始

完了次第（目安9:00頃）スキッパーズミーティング

9:30 レース艇ドックアウト

10:30 第1マッチ注意信号

18:00 帰着完了 夕食（カレーライス&サラダバー）

18:30 アンパイア・ブリーフィング&講習、翌日のスキッパーズミーティング

Day2 2月29日（土）

8:30 レース艇ドックアウト

9:00 Day2 最初マッチの注意信号発令

18:30 アンパイア・ブリーフィング&翌日のスキッパーズミーティング

19:00 パーティ 20:30頃終了予定

Day3 3月3日（日）

8:30 レース艇ドックアウト

9:00 Day3 最初マッチの注意信号発令

16:00 アンパイア・ブリーフィング、表彰式

17:00 解散

4.2 実行委員会により許された場合を除いて、以下の行事に出席することは義務である。

- (a) スキッパーは毎日のスキッパーズミーティングとアンパイア・ブリーフィング。（本大会ではクルーの出席も推奨する。）
- (b) スキッパーとクルーはパーティと表彰式

5 スkipパーの参加資格

5.1 12チームが招待される。実行委員会により招待されたチームのみが本大会に参加する資格がある。

招待基準は以下の通りである。

- (a) 大会シード1チーム：2019年度優勝チーム 『ドリームチーム』
- (b) 2019年全日本インカレ上位総合1位の1チーム 『慶應義塾大学』
- (c) 外洋帆走学連代表1チーム 2019年3月7-8日オールズカップ 優勝『神戸大学』
- (d) 大会主催者による推薦1チーム
- (e) 公募により選定する8チーム。

上記(a)～(d)に辞退があった場合はこの枠を広げる。

選考基準はJYMAに委ねられている。

5.2 前項(b)～(c)に該当するチームのスキッパーは大学入学後4年以内の大学生であること。

5.3 本大会に参加するすべての競技者は2020年3月31日時点で25歳未満でなければならない。

5.4 (a)～(d)項により招待状を得たチームのスキッパーは、招待受諾の意思を文書で(メール可) **11月29日**までに大会実行委員長に返信しなければならない。

期限までに招待受諾の意思表示がない場合は辞退したものとみなす。

5.5 (e)項(公募)により参加を希望するチームは、インビテーション・リクエストを **11月15日～11月30日**の期間にJYMA宛に

提出しなければならない。リクエストを提出したスキッパーの中から大会実行委員会が選出して招待状を送付する。

5.6 受付時に登録したスキッパーは非常の場合を除き、レース中は常に艇の舵をとっていなければならない。

5.7 すべての競技者(クルー含む)は、2020年の有効なJYMA会員資格を取得していなければならない。

2020年JYMAユース年会費は種別なく一律に3,000円。本大会で得たJYMA会員資格は2020年12月31日まで有効。

2020年1月1日以降にJYMAホームページで会員登録し、2020年1月1日以降に会費を指定銀行口座に振り込むこと。

☆ユース年会費対象者は入会時25歳未満であれば登録資格がある。

5.8 すべての競技者(クルー含む)は、2019年度の有効なJSAF会員資格を取得していなければならない。

(有効期間は毎年3月31日まで)

5.9 スキッパーはWSセイラーIDを取得しなければならない。これは<https://members.sailing.org/profiles/profile.php?unique=1510216918.0034&nocache=1&view=default> から登録できる。

5.10 外国籍を有するスキッパー、クルーは有効なナショナル・オーソリティの資格を証明できれば(5.7)(5.8)は免除される。

注：大会開初日の受付時に会員資格の手続きは行わない。必ず、各自で事前に登録、入金を行うこと。

6 参加

6.1 チームは、大会当日の受付時にチームのクルーリストを提出し、体重測定を行い、チーム全員のJSAF会員証を提示し、すべての費用の支払いを証明して本大会に参加すること。JYMA会員資格は主催者側が受付時にチェックする。(JYMAは会員カードを廃止している)

6.2 参加料とパーティ費

(a) 参加料(競技艇使用料・船体保険含む)は1チーム**6万円**である。

(b) 招待状を受け取り、受諾したチームは、**12月15日**までに下記の銀行口座に参加料の一部**4万円**、もしくは**全額の6万円**を振込まなければならない。

(c) インビテーション・リクエストにより出場するスキッパーは、**12月20日**までに下記の銀行口座に参加料の一部**4万円**、もしくは**全額の6万円**を振込まなければならない。

- (d) 納入された参加料は、原則として返金されない。
- (e) 全てのチームは参加料の残金を2月末までに振り込まなければならない。(分割して支払った場合)
- (f) 初日の夕食と2日目のパーティ費は合計5,000円/人である。(予定)

【参加料振り込み先口座】 JYMA 学生マッチ専用口座

三菱東京UFJ銀行南藤沢支店(732) 普通口座0040823日本ヨットマッチレース協会

注: JYMA年会費の振り込み口座番号は0023391です。お間違いのないようご注意ください。

6.3 ダメージ・デポジット

- (a) 最初の**ダメージ・デポジット 2万円**は**当日受付の際に**支払わなければならない。このデポジット額は、事故の結果、チームが支払わなければならない最大額ではない。
- (b) 実行委員会の決定によりダメージ・デポジットから差引を行う場合、ダメージ・デポジットが元の金額まで充当回復されなければ、チームはレースを続けることを許されないことがある。
- (c) ダメージ・デポジットが充当されるダメージ、およびその他の損害賠償については**添付書**によるものとする。
- (d) ダメージ・デポジットの残額は、できるだけ大会終了時に、又は遅くとも大会終了後3週間以内に返却される。

6.4 大会が中止された場合の参加料とダメージ・デポジットの取り扱い

- (a) **2月23日17時**までに大会を中止した場合: 参加料と、ダメージ・デポジットは全額返却する。
- (b) 2月23日17時以降に大会を中止した場合: 参加料を原則返却しない。ダメージ・デポジットは全額返却する。

7 ルール

7.1

- (a) 本大会は付則Cを含むセーリング競技規則 2017-2020 (RRS)に定義された規則が適用される。
- (b) SI アデンダムC(競技艇取扱い規則)はすべての練習中にも適用する。
- (c) クラス・ルールは適用しない。
- (d) 本レース公示と帆走指示書との間で矛盾が生じた場合には帆走指示書(SI)を優先する。

7.2

- (a) RRS41に次の項を追加: (e) 水中からクルーメンバーを助け上げ、艇上に戻すための援助。但し艇に戻すのは、水中から助け上げた場所の近くの場所に限る。
- (b) RRSC8.6とC6.3は帆走指示書で変更される。

8 競技艇とセイル

- 8.1 本大会はJ/24タイプ艇を使用する。
- 8.2 6艇の競技艇を用意する。
- 8.3 競技艇には各々、以下のセイルを用意する。メインセール1枚、ジブ1枚、スピネーカー1枚。
- 8.4 競技艇はレース委員会の決定により毎日もしくはステージごとに、抽選によって割り当てられる。

9 乗員(スキッパーを含む)

- 9.1 乗員の内、少なくとも1名は開催地でJ/24を動かせる船舶免許を所持して、その艇の航行に責任を持たねばならない。
- 9.2 チームのメンバー登録に人数制限はない。レース中の乗員は4~6名とする。9.4の制限体重以内であれば、登録したメンバーとの乗員の交代を認める。ただし、2レース目以降の乗艇人数は最初のレースに乗艇した人数より多くても少なくともいけ
ない。
- 9.3 クルーを交代する場合は、事前にレース委員会に申告し、許可を得なければならない。また、クルーの交代のために要する時

間はスタート時刻延期の要望対象とはならない。

- 9.4 乗員の合計体重は、最低限シャツとショーツを着用した状態で350kg以内でなければならない。
- 9.5 登録されたスキッパーが大会を継続することができなくなったとき、レース委員会はオリジナル・クルーメンバーからの交代を認めることができる。
- 9.6 登録されたクルーが大会を継続することができなくなったとき、レース委員会は交代選手、一時的な交代、その他の調整方法を認めることができる。
- 9.7 未成年者（3月3日時点で満20歳未満の者）は、保護者の同意書（署名、捺印が必要）を大会初日の受付時に提出しなければならない。

10 イベント・フォーマット（予定）

10.1 チームは抽選により2つのグループに分けられる。

10.2 本大会は以下のステージからなる。

Stage1 グループごとのシングル・ラウンドロビン

Stage2 異なるグループのチームとのラウンドロビン。（Stage1-2の終了で全チームが1回ずつ対戦することになる。）

Stage3 ファイナル・ノックアウト

Stage4 3-4位決定ファイナル

Stage2が行われる場合、Stage1と2を合わせて1つのラウンドロビン・シリーズとする。これは規則C11.1を変更している。

10.3 その時の状況あるいは残り時間では、予定されたフォーマットの完了が難しいと判断される場合、主催者はフォーマットの変更、いずれかのステージの打ち切りまたは削除を行うことができる。

11 コース

11.1 コースはスターボード回りの風上／風下コースとし、ダウンウィンドでフィニッシュする。

11.2 コース海面はマリーナ東海の沿岸に設定する予定である。

12 広告

12.1 競技艇と装備を主催者が提供するので、WSレギュレーション20.4が適用される。各競技艇は主催者が支給する広告を表示するよう求められることがある。

12.2 競技者は開催地の陸上では個人広告を表示することが許されることがあるが、これは実行委員会との個別交渉による。

12.3 広告に関するルール違反は、艇による抗議の対象とはならない（RRS60.1の変更）。

13 成績と賞

13.1 1位～3位のチームにはJYMA賞を贈る。

13.2 JYMAホームページ全日本歴代勝者リストに1～6位のチーム名を掲載し栄誉を讃える。<http://www.matchrace.gr.jp/winners.html>

13.3 学生スキッパー賞

スキッパーが学生である（公示5.2の要件を満たす）チームで最上位の者に「最優秀学生スキッパー賞」を贈る。

13.4 海外の大会からJYMAにユース選手の招待状が届いた場合、本大会の成績を参考として推薦し、支援する。

実行委員会は、競技者の不品行、あるいは公式行事への出席を含むリーズナブルな要求に応じることの拒否に対して、賞を減じることができる。

14 メディア、映像および音響

14.1 主催者により求められた場合：

- (a) 主催者により支給された映像要員と機材（またはダミー）をレース中搭載しなければならない。
- (b) 競技者はレース中、主催者により支給されたマイクロフォンを装着し、OAまたはRCに指示された場合、インタビューに応じなければならない。
- (c) 登録したスキッパーは主催者により支給され、レースしている間コメンテーターが彼らと通信できるような通信装置を装着しなければならない。

14.2 競技者はOAにより支給されたメディア装置の正常な作動を妨害してはならない。

14.3 主催者は、大会中に記録された画像や音声を無料で使用する権利を有するものとする。

15 支援艇

15.1 支援艇は、支援しているチームの識別を目立つように表示しなければならない。

15.2 OAは支援艇用のバースを提供しない。

15.5 支援艇によるレースまたは大会組織へのいかなる妨害も、当該チームに対しPCの裁量により課されるペナルティーをもたらすことがある。

16 責任の否認

大会に参加するすべての者は、自己の責任で参加している。実行委員会、その提携者および実行委員会より任命を受けた者は、原因が何であれ、損害、損傷、負傷または被った不都合に対する一切の責任を否認する。

17 行動規範と選手の義務

17.1 (a) 競技者は、公式行事への出席や大会スポンサーへの協力を含む、競技役員からのリーズナブルな要求に応じなければならない。また大会の名誉を傷つけるような行動をしてはならない。

(b) 競技者は、艇と装備を通常の注意とシーマンシップによって取り扱い、SIに定める競技艇取扱規則に従わなければならない。

17.2 参加選手は可能な限り大会運営の補助をしなければならない。

【連絡先】

JYMA 学生マッチ実行委員 佐藤麻衣子

email:maiko.jpn1@gmail.com